

良いものを作る!

- 品質向上と生産量の安定対策に取り組みます。
- 高品質な農産物の生産につながる農業研修会を開催します。
- 営農指導による出向く体制を充実させるため事業間の連携策について検討します。

産地を守る!

- 無料職業紹介事業への取組みを充実させ、管内農業労働力確保に努めます。
- 高品質生産対策等にJA独自の営農助成の充実に努めます。
- 温暖化に対応した水稻優良品種の試験栽培に継続して取り組み、随時その結果を公開します。
- 出荷前を基本とした残留農薬の分析と、HACCPに基づく衛生管理制度に準ずる取組をすすめ、産地の信頼度を高めます。
- 引き続き専任担当者を設置し、各営農センターと連携して耕作放棄地の解消に取り組みます。
- スマート農業の研究を継続するとともに、水稻ドローン防除などの普及に向けたPRと提案活動に取り組みます。



高く売る!

- 販売方法、消費地別戦略などを多面的に検討し販売単価と農業所得の向上に取り組みます。
- 有効な販売促進や需要を喚起する手段について検討します。
- 直営選果場の販売方法や運営方法を検証し、より結集力が発揮できる体制を検討します。
- 直接販売への取組を強化するため、インターネットでの販売品目を充実させるとともに、他業態との連携による販路拡大を目指します。

コストを下げる!

- 奨励金制度の検討や価格折込品目の追加等、「価格の見える化」の充実に取り組みます。
- 水稻土壌改良資材の低コスト資材の普及拡大、省力化・軽力化商品として、配合肥料15kgの試験供給を検討します。
- 大型規格容器・ジェネリック薬剤などの低価格商品の推奨に取り組みます。
- レンタル農機および中古農機流通促進のため、登録機種の充実に取り組みます。

資金で応援!

- 引き続き農業資金の利子助成を実施し、低金利で利用いただけるよう取り組みます。
- ローンセンターを中心に、地域金融機関としての機能発揮に取り組みます。
- 新型コロナウイルス感染症により、農業経営に影響を受けた組合員に対する資金融通と負担軽減に取り組みます。

地域のために!

- 健康教室の開催などを通じ、高齢者が地域で元気に暮らせるよう支援します。
- 地域の子どもたちに農業体験学習や出前授業等を通じ、農業への理解や食の大切さを伝える活動に取り組みます。
- 地域の将来を担う次世代層(小中学生)を対象とした、文化・スポーツ支援と登校時の見守り活動など交通事故防止対策に取り組みます。
- 環境負荷の軽減に配慮した農業生産を推進します。
(農業用廃棄ビニールなど従来の回収品に加え、新たに「使用済みかんコンテナ」の回収を実施予定)
- 第22期剰余金処分案にて大規模自然災害対策積立金に1億円(累計4億円)の積み立てを提案します。

